

北信地域の取組～輝く人と恵まれた自然を活かした心豊かで元気な北信州農業～

重点戦略 1：経営感覚に優れた元気な担い手の育成

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
40歳未満の新規就農者数（単年度）	13人	31人	24人	31人
認定農業者数	900人	930人	691人	1,000人
集落営農組織数	22組織	27組織	29組織	28組織

<施策の取組状況>

○ 関係機関の連携による担い手の支援体制の強化

- 市町村や農業委員会、JA等の関係機関が連携し、新規就農情報を共有するため、就農推進連絡会議を2回開催するとともに、就農前後の青年農業者育成のための北信州農業道場交流会を開催した。
- 就農相談や定期的な巡回により円滑な就農に向けた支援を行うとともに、青年就農給付金を活用し、41名（準備型：5名、経営開始型：36名）の新規就農者等を支援した。

○ 新規就農者、女性農業者、定年帰農者等多様な担い手の育成

- 若い農村女性の基礎技術を習得させるため、女性農業セミナーを5回開催した。
- 農業経営に携わる各世帯員がやり甲斐を持って経営に参画するため、農業道場生、女性農業者セミナー参加者等に啓発し、家族経営協定を農業委員会と連携して13組締結した。



【北信州農業道場ぶどうコース】

○ 青年農業者の育成講座「北信州農業道場」の企画・運営

- 意欲ある青年農業者を地域の中核的な担い手として養成するため、北信州農業道場の選択制科目11講座、品目別科目3コースを開催した。

<今後の展開方向>

- 就農相談会や関係機関との連携による担い手の確保・育成をします。
- 北信州農業道場の講座で新規就農者の育成を図るとともに、必要に応じて個別巡回を実施するなど、個別課題解決に向けた支援により自律した青年農業者を育成します。
- 水稻を中心とした農業法人に対し、経営管理能力を高め、安定した経営ができるよう支援します。

重点戦略 2：人と環境にやさしい農業の推進

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
信州の環境にやさしい農産物認証取得面積	273ha	463ha	337ha	530ha
環境保全型農業直接支援対策実施面積	5ha	30ha	86ha	30ha
GAP手法を活用している農家グループ数	10グループ	17グループ	13グループ	20グループ
侵入防止柵の設置延長	22.7km	90km	72.1km	100km

<施策の取組状況>

○ 信州の環境にやさしい農産物認証制度の周知と認定取得へ誘導

- J A生産部会等によるエコファーマーの取得に向けた取組を働きかけるとともに、個別相談会を開催し、10名のエコファーマーの再認定を支援した。
- 栽培基準の作成等環境にやさしい農産物認証の取得継続に向けた取組を1団体で実施するとともに、実証ほを3か所設置した。

○ 関係機関、団体等と連携した野生鳥獣に負けない集落づくり (個体数調整、集落ぐるみの環境整備、侵入防止柵の設置)の推進

- 野生鳥獣からの被害を防止するため、72kmの電気柵の設置・管理指導を行うとともに、捕獲わな講習会を2回、鳥獣被害対策実施隊による取組を4市町村で支援した。

<今後の展開方向>

- エコファーマー制度や環境にやさしい農産物認証制度の取組を推進するため、集団を対象とした支援を進めます。
- 農産物直売所の運営力の向上や質的向上を進めるため、GAPの取組を支援します。
- 侵入防止柵の整備や個体数調整等集落が一体となった鳥獣被害防止対策を推進します。

重点戦略3：地域資源を活かした個性輝く産地の育成

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
原産地呼称管理制度認定米面積	7.7ha	41ha	27.7ha	45ha
りんご3兄弟の栽培面積	134ha	157ha	160ha	162ha
ぶどうナガノパープル・シャインマスカット等無核品種の面積	45ha	68ha	68ha	80ha
プラムの栽培面積	56ha	69ha	68ha	73ha
アスパラガスの新植、改植面積	15ha	90ha	79ha	116ha
きのこの複合経営農家数	237戸	254戸	186戸	260戸

<施策の取組状況>

○ 消費者ニーズを捉えた高品質な農畜産物を生産するため、県オリジナル品種や地域優良品目の導入及びこだわりを持った生産等によるブランド力の向上

- ぶどうナガノパープル、シャインマスカットの品質向上と生産拡大のため、モデル園を2か所で設置するとともに、技術講習会を5回開催した。
- ももの高品質、安定生産に向けた適期防除の推進を図るとともに、すもも新品種スモモ長果1(シナノパール)の導入検討に係る検討会等を4回実施した。
- ブランド化を図るため、果実集出荷施設7か所を4か所に再編整備する取組を支援した。
- 信州黄金シャモ地域ワーキングチーム会議を3回開催するとともに飼育技術等に係る定期巡回指導会を実施した。

○ 売れる米づくりに向け、高温障害対策等の栽培技術の励行や新品種の導入による品質食味を重視した米づくり

- 県オリジナル品種「風さやか」に係る実証ほ(奨励品種決定ほ)を設置するとともに、技術栽培指導会等を開催し、141haまで栽培面積が拡大された。
- 高品質米の生産安定のため試験(施肥等)を2か所で実施した他、高温障害回避技術を普及するため、現地指導会を3回実施した。

○ **ぶどうやアスパラガス、シャクヤク等北信州の特徴ある農産物の高品質安定生産と長期出荷体制を強化するための施設化の推進**

- 各種補助事業を活用し、シャクヤク、アスパラガス等の雨除け・簡易雨除け施設の導入拡大(40a)を図った。

○ **高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫の蔓延防止のための防疫体制の強化**

- 従来の連絡会議を統合し、長野県特定家畜伝染病北信地区連絡会議を立ち上げるとともに、管内最大規模畜産農家を想定した防疫マニュアルを策定した。
- 高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の防疫体制を強化するため、通常農業振興業務に携わらない職員などを広く参集した防疫研修会を開催した。



【北信地域特定家畜伝染病防疫演習】

○ **6次産業化等により新たな需要拡大の推進支援**

- 北信地域における地域資源活用・農商工連携事業推進連絡会議連を開催するとともに県内の6次産業化に対する状況や課題を検討する研修会を開催した。

○ **伝統野菜等の個性ある野菜栽培の支援**

- 坂井芋、常盤牛蒡の地元への周知と利用拡大を進めるため、PRイベントを開催するとともに、レシピ集を作成した。
- 個性ある地域野菜の保全を推進するため、信州伝統野菜認定制度を広く周知を図り、栄村の“しこしょう”が伝統野菜に選定登録された。

＜今後の展開方向＞

- りんご及びぶどうの県オリジナル品種やシャインマスカットの品質の向上を図るため、JAと連携した講習会や園地巡回等の支援をします。
- アスパラガスの栽培面積の維持のため、体系防除や新規作付、改植の推進を支援します。
- 雑草イネの減少に向けた抜き取りや施肥技術等基本技術徹底等により米の品質向上を進めます。
- 六次産業化を希望する農業者の総合化事業計画作成とその後の事業取組の支援を行います。

重点戦略4：安全で住み良い農村づくり

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
地すべり対策工事による土砂災害未然防止面積	929ha	929ha	929ha	960ha
基幹水利施設の機能診断・保全計画策定済延長	14km	60km	60km	60km
地域ぐるみで取り組む多面的機能支払等取組面積	2,512ha	3,403ha	3,472ha	4,213ha

＜施策の取組状況＞

○ **農業・農村の多面的機能の維持や農村コミュニティの活性化に向けた、地域ぐるみの協働活動への支援**

- 多面的機能支払や中山間直接支払により農業生産活動の維持向上を支援した。
- 市町村や土地改良区等関係機関を巡回し、多面的機能支払の取組を推進した。

- **地すべり対策や中山間地域の農業用水路やため池の保全対策の推進**
 - 七瀬地区（中野市）など5地区で計画的に地すべり対策を進め、土砂災害の防止を図った。
 - 岡山地区（飯山市）において農業用水路等の保全対策を推進し事業完了した。
 - 自然エネルギーの普及に向けた小水力発電等を推進するため、豊郷地区（野沢温泉村）で概略設計を、温井地区（飯山市）で案件形成にかかる支援を行った。
- **農業水利施設の計画的な更新と長寿命化対策の推進**
 - 基幹的農業水利施設を機能診断し、中野西部地区（中野市）1か所で保全計画を策定した。
 - 策定した保全計画に沿った施設補修を行うため、土地改良区が行う事業計画の策定を支援し、平成27年度から中野地区（中野市）等3地区で事業に着手した。
- **耕作放棄地の再生に向けた地域ぐるみによる特色ある地域振興作物の作付推進**
 - 耕作放棄地の再生を進めるため、にんにく、アスパラガス等の振興作物の作付推進を行った。（耕作放棄地解消面積49ha）

＜今後の展開方向＞

- 多面的機能支払や中山間直接支払共同活動を市町村と連携し推進します。
- 地すべり対策工事の計画的な実施により土砂災害を未然に防止します。
- 基幹水利施設を管理する市町村、土地改良区と連携し、保全対策を進めます。
- 耕作放棄地の解消を進めるため、そば、にんにく、えだまめ等地域振興作物の導入を進めます。

重点戦略5：地域食文化の伝承と農作業体験等の都市農村交流の推進

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
都市農村交流人口	31,637人	36,200人	43,759人	37,000人
直売所販売額	10億円	13.6億円	16.7億円	14億円
「おいしい信州ふード（風土）」SHOP数	0店	35店	96店	50店

＜施策の取組状況＞

- **インターネットやマップ、「おいしい信州ふード（風土）」を活かした地元ならではの食の積極的な情報発信**
 - 「おいしい信州ふード（風土）」を県内外へ周知するため、おいしい信州ふード（風土）物語「秋映」を広く配布（10,000部）するとともに、量販店の店頭等で情報発信活動した。
 - 「おいしい信州ふード（風土）」物語等を活用し、銀座NAGANOにおいて「おいしい信州ふード名人」等による情報発信活動を実施した。
- **女性の技を活かして次世代・消費者へ郷土の味の伝承と地元農産物の利活用拡大**
 - 次世代・一般消費者へ郷土の味を伝承するため、笹もち、おやき、やしょうまづくり講習会を3回開催した。

＜今後の展開方向＞

- おいしい信州ふード（風土）の認知度の向上をさせるため、おいしい信州ふード（風土）物語の作成及び物語を活用したPRを進めます。
- 郷土の味を伝承させるため、次世代や一般消費者に対する体験活動を支援します。